

# 社会福祉法人天竜厚生会 実践発表会

社会福祉法人 天竜厚生会

〒431-3492 静岡県浜松市天竜区渡ヶ島 217-3

## 助成事業の概要

### 【目的】

地域住民を対象に社会福祉法人が実践している事業の発表を行うことで地域の福祉に対する理解を深め、高齢者、障がい児者、健常者等が住み慣れた地域で長く一緒に暮らせる地域づくりを推進することを目的に毎年、開催している。

### 【時期】

令和5年1月29日、浜松アクトシティ中ホールにて実施。

令和5年2月28日より当会ホームページより、YouTubeにて公開を開始。

### 【内容】

新型コロナウイルス感染症流行から、医療・福祉サービスご利用者だけでなく、地域住民についても日々の感染予防や健康保持の重要性を痛感することとなり、改めて健康に対する意識が高まった。この機会を踏まえ「健康」と「福祉」について各事業所で活躍する職員から、事業所の紹介とともに、取り組みを発表した。また、感染症対策で来場者数を制限したことから、会場に来場できない方や、地域住民の方には当日の様子を動画配信し広く福祉の啓発をした。

## 事業の成果

【「健康経営優良法人 2023」認定への取り組み～経営企画課～】

当法人が実施している健康経営の説明をした。また経済産業省が行っている「健康経営優良法人

認定制度」に当法人は積極的に取り組んでいることを伝え、健康に資する研修に積極的に参加、運動習慣を身に着ける等、一人一人の健康に対する意識を促した。

【子どもたちの健やかな心と身体を育むために～子育てセンターしんぱら～】

当法人の子育て部門では全職員が7つのグループに分かれて、特色ある7つの活動の研修に参加することで、各園との情報交換、援助の仕方を学ぶ等、学びを深めている。その活動の中で事業所が行っている「リズム」と「食育」を紹介した。

リズムは普段使わない筋肉や神経を使い、刺激することで身体の使い方が上手になり、この取り組みを継続することで、転倒等による怪我が減った成果が得られた。また、コロナ禍であるが、密を避け継続してリズムを行っていくためにはどうすればよいのかと方法や内容の話し合いを積み重ね、青空リズムという園庭での身体を使った遊びを紹介した。食育は、味覚だけでなく見たり触れたり、匂いや音といった五感を使って美味しさの発見を繰り返すことで残食が減り、食への意欲に繋がること等を伝えた。

【住み慣れた地域で暮らし続けるために～中山間地域における医療・福祉の連携について～地域包括支援センター北遠中央】

中山間地域の地域包括支援センターの紹介、天竜区の年齢別人口、住民の特徴や想いを紹介。さらに中山間地域で暮らしているご利用者の事例を紹介し、課題解決に向けて地域での取り組みを発表した。限られた社会資源の中、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けるために、医

療と福祉、地域との連携の重要さを伝えた。

【新型コロナウイルス感染対応について～天竜厚生会診療所・特別養護老人ホームさやの家・天竜厚生会アクシア藤枝・入所支援課・総務課】

異なる 5 分野より、対応を紹介した。具体的には、天竜厚生会診療所より、施設ご利用者、法人職員の他、地域のかかりつけ医として医療提供をしていることを紹介。新型コロナワクチン接種の整備、実施、検査キットの確保等を行い、入所施設のゾーニングにも関与してきた。今後においても、ウィズコロナに向け、診療所が果たすべき役割を再確認するとともに、各事業所と連携を図り対応していくと紹介した。次に特別養護老人ホームさやの家、天竜厚生会アクシア藤枝より、施設で発生したクラスター対応について紹介した。高齢者施設と障がい者施設に入所されているご利用者の特性に合わせた対応の違い等を伝えた。また、エッセンシャルワーカーであるという自覚を高め、サービスを必要とする方々の安心につながる運営を続けていかなければならないことを伝えた。次に入所支援課より、法人内で発生したクラスター施設に対して、ゾーニング設置支援、不足物資の手配、応援職員の調整等、大規模法人ならではの協力体制を紹介した。最後に総務課より、ご利用者の感染予防サービスの継続と、感染エリアで働く職員への処遇、職員に対する感染予防の意識啓発を紹介した。

以上 4 発表、10 事業所に渡る当会の幅広い福祉、医療サービスを紹介した。特に新型コロナウイルス感染症対応については、約 3 年間における感染時の対応、今まで実施してきたことを改めて立ち止まり、振り返りとして報告し伝えた。

## ■ 成果の広報・公表

令和 5 年 1 月 29 日、浜松アクトシティ中ホールにて実践発表会を開催した。新型コロナウイルス

感染症対応により、地域の方をお招きしての集合開催が困難となったため、当日の発表の様子を動画撮影し公開した。

制作動画は主に「天竜厚生会ホームページ」、「YouTube」で公開し、広く一般の方へ視聴してもらう機会を整えた。また、当会広報誌「機関誌あかまつ」へ動画配信の案内を掲載した。静岡県内外への 132 団体の行政機関をはじめとして、学校関係、各種関係機関へ案内を送付した。

また、学生や就活生に対しても動画を視聴することで福祉事業の多様さややりがい理解を求め、職業選択の一助にする。

## ■ 今後の展開

今回の発表では、テーマをもとに天竜厚生会で現在取り組んでいる活動の実践発表会と今後の展望について報告した。それぞれの事業所が創意工夫を凝らしつつ、多くの人と関わり合いながら進めている現状についても伝えた。なかでも、新型コロナウイルス感染対策については、大規模法人ならではの経験や応援職員配置、多職種の連携等により支えあいながら、困難を乗り越えた過程や現状を伝えることができた。

当日は、感染症対策の観点から来場者数を制限したが 92 名が来場し、後日のアンケートからは「発表を聞き自身の健康を改めて振り返るきっかけになった」などの回答を得ている。さらに動画配信をすることによって、当法人を幅広い方に知って頂き、地域に対して社会福祉法人の取り組みを発信し、信用を高めるとともに地域住民に対する福祉の啓発ができたものと感じた。今後も社会福祉法人が地域とつながっていることを、実践発表会を通じて示していきたい。